

Part II

基礎概念と研究現場

★Interview

1章 フロントランナーに聞く (座談会)

002

上村 大輔 教授, 長田 裕之 博士, 上杉 志成 教授
聞き手: 上田 実



★Basic concept-1

2章 生物活性リガンドと分子標的の基礎

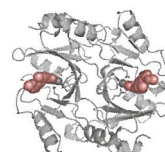
014

上田 実

★Basic concept-2

020 標的分子同定の基礎

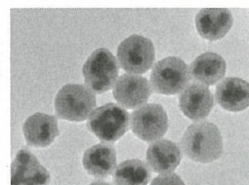
細谷 孝充・吉田 優



★Basic concept-3

026 分子標的同定の実例

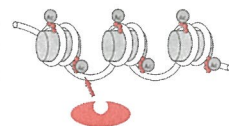
井本 正哉・川谷 誠



★History

3章 天然生物活性リガンドによる
034 生命科学の新展開と将来展望

吉田 稔

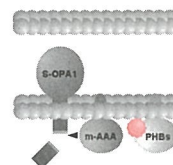


★Activities

4章 学会・シンポジウム・研究会の紹介

040

上田 実



CONTENTS

Part III

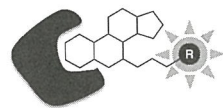
研究最前線

①標的探索の実際

1 章 **ビオチン体を利用した生化的標的 タンパク質精製法**

042

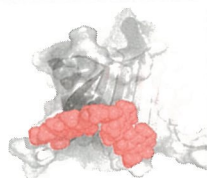
佐藤 慎一・勝田 陽介・上杉 志成



2 章 **標的同定の迅速化を目指した生物活性 小分子の非古典的修飾・固相担持法**

048

叶 直樹



3 章 **天然物ライブラリーを用いたタンパク 質間相互作用制御物質の探索と解析**

057

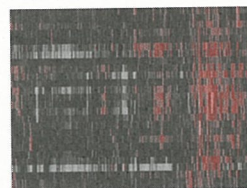
新家 一男



4 章 **光親和性標識法の基礎と実際**

063

細谷 孝充・吉田 優



5 章 **大規模プロファイリングを用いた 標的的同定**

071

室井 誠・長田 裕之

②標的的同定とバリデーションの実際

6 章 **ビッグデータを利用した標的的同定 の実例**

079

井本 正哉



7 章 **半田ビーズを用いたサリドマイド 標的的同定**

086

坂本 聡・伊藤 拓水・半田 宏

8 章 **ケミカルプローブを用いた プラジエノライドの標的的同定**

094

横井 晃・小竹 良彦

CONTENTS

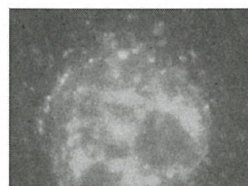
Part III 研究最前線

- 9章 生体膜微小環境への挑戦：膜ステ
102 ロールに作用する海洋天然物セオ
ネラミド 西村 慎一・掛谷 秀昭



- 10章 植物ペプチドホルモン受容体同定
109 の新展開 松林 嘉克・篠原 秀文

- 11章 ケミカルプロテオミクスによる定量的
116 特異性の評価と標的バリデーション 小田 吉哉・山本 昇



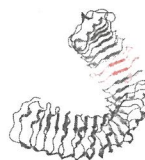
③リガンド構造展開と活性制御の実際

- 12章 アプリシアトキシンの骨格を利用
127 した抗がん剤シーズの開発研究 入江 一浩



- 13章 リン酸化酵素に対する選択的
134 阻害剤の開発 喜井 勲・萩原 正敏

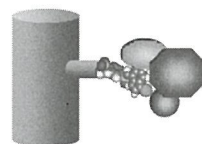
- 14章 海洋天然物ハリコンドリンBをシード
140 とする新規抗がん剤エリブリンの開発 田上 克也・吉松 賢太郎



④ケミカルバイオロジーからの展開

- 15章 “Glycosylation Switching”による
150 内因性リガンドの活性制御 上田 実

- 16章 アルキンタグを用いた化合物の
155 生細胞ラマンイメージング 闕闕 孝介・袖岡 幹子



CONTENTS

Part III

役に立つ情報・データ

① 研究のヒントになる！
生物活性分子の標的同定 100 164

② 覚えておきたい関連最重要用語 178

③ 知っておくと便利！関連情報 183

索引 185

執筆者紹介 191

★本書の関連サイト情報などは、以下の化学同人 HP にまとめてあります。
→<http://www.kagakudojin.co.jp/special/csj/index.html>

